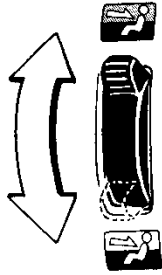


ヒーターの使い方

■吹き出し口



▶フレッシュ・フィーリング・ヒーター・システム（独立冷風吹き出し）について

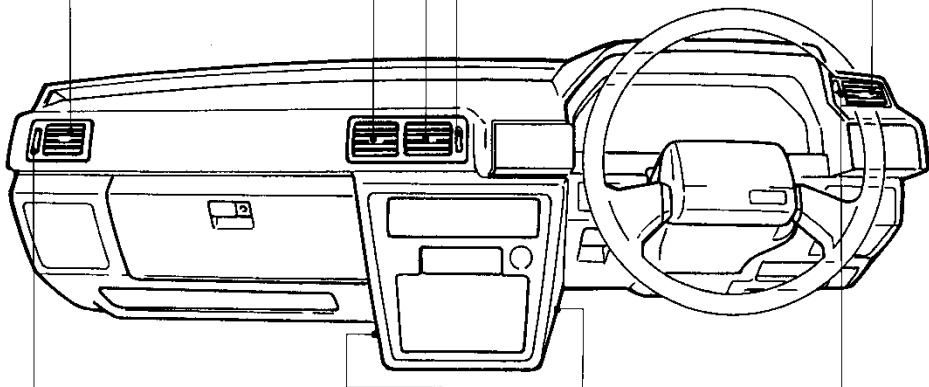
室内暖房および曇り取り時の温風による頭部の不快感を解消するため、中央吹き出し口から冷風を出せるようにしたものです。

1. 中央吹き出し口切り替えレバーを上側にすると、温度調整レバーの位置に関係なく冷風が出ます。
2. 不要な場合は、レバーを下側においてください。

▶中央
ツマミを動かして風向きを調整します。

▶右側
ツマミを動かして風向きを調整します。

▶左側
ツマミを動かして風向きを調整します。

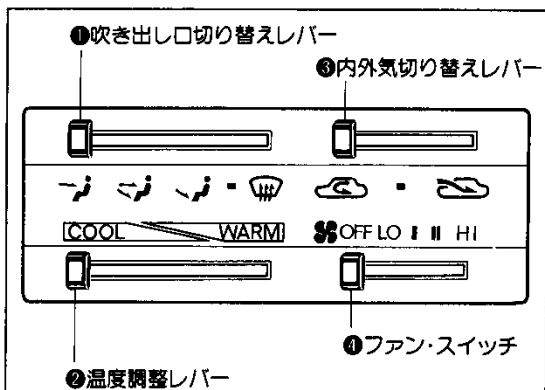


▶開閉ダイヤル
左側吹き出し口からの送風が不要な場合はダイヤルを☒の位置にします。

▶足元
暖房時に温風が出ます。

▶開閉レバー
右側吹き出し口からの送風が不要な場合はレバーを☒の位置にします。

ヒーター



■吹き出し口切り替えレバー①の働き

各吹き出し口の風量の割合を無段階に調整することができます。

- 換気……………上半身、顔面に温風、冷風を送ります。



吹き出し口→B・C

- 頭寒足熱……………頭寒足熱のこちよい暖房を行います。



吹き出し口→B・C・D (Aから少々)

- 暖房……………室内暖房(最大暖房)



吹き出し口→B・D (Aから少々)

- 暖房および……………室内暖房と同時に曇り取りが行え曇り取り



吹き出し口→A・B・D

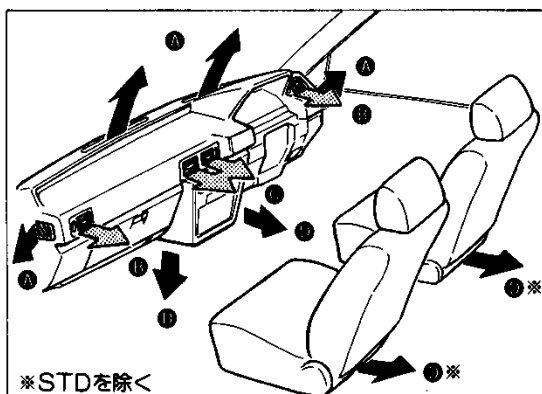
- 曇り取り……………フロント・ガラスおよびドア・ガラスの曇りを取ります。



吹き出し口→A・B (Dから少々)

■温度調整レバー②

COOLからWARMまで無段階に温度を調整できます。



■内外気切り替えレバー③の働き

- 内気循環……………内気循環式。急速に車内を暖めるとき、または外気がよれているときなど一時的に使用します。
- 内外気混合……………急速に車内を暖めながら、換気もしたいときに使用します。



1. 長時間使用するとガラスが曇りやすくなるため通常は外気導入を使用してください。
2. 高速走行するとき、またはファン・スイッチがOFFのときはこの位置での使用をさけてください。

- 外気導入……………外気導入式に切り替わります。



①のレバーが または のとき③のレバーを または にしないでください。ガラスが曇りやすくなり危険です。

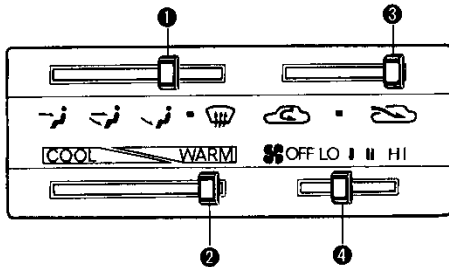
■ファン・スイッチ④

風量を4段階に調整できます。

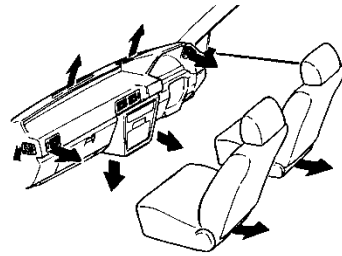
ヒーターの使い方

▶通常の暖房

〈レバーのセット位置〉



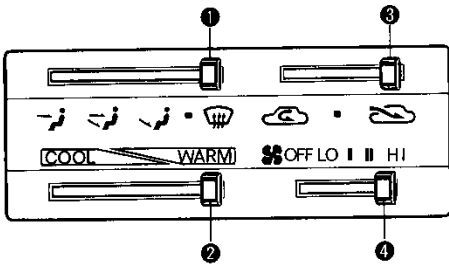
〈吹き出し口〉



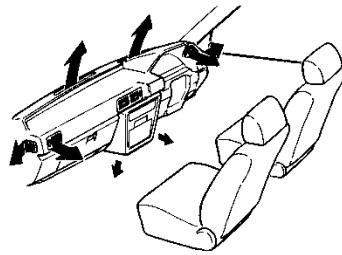
1. 暖かくなってきたら④のスイッチをOFF側へ、また②のレバーをCOOL側へ移動させてお好みであった状態に調整します。
2. トンネル内、渋滞などで外気がよごれている場合以外③のレバーは の位置で使用します。 で使用するとガラスが曇りやすくなります。

▶ガラスの曇りを取るとき

〈レバーのセット位置〉



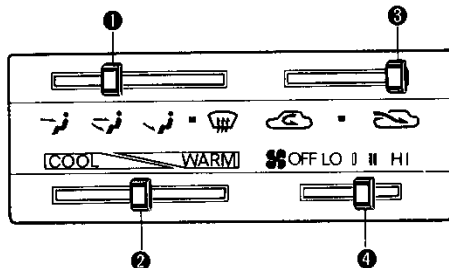
〈吹き出し口〉



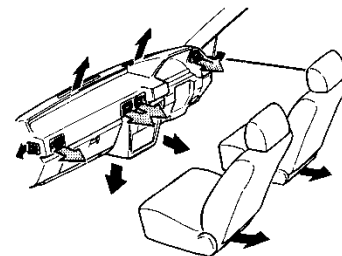
1. ①のレバーを の位置にすれば曇りを取ると同時に足元も暖められます。
2. 曇りが取れたら①のレバーを 側へ動かします。
3. 夏期の曇り止めには、②のレバーを適度に調整します。
4. ③のレバーは で使用します。

▶頭寒足熱型にしたいとき

〈レバーのセット位置〉



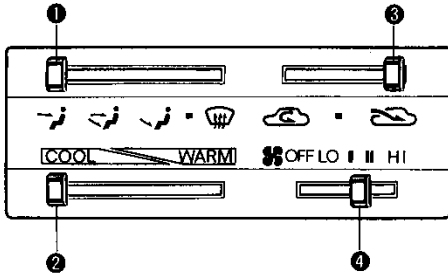
〈吹き出し口〉



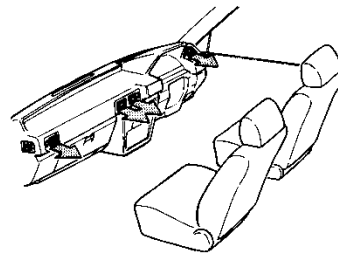
1. ①のレバーを に、②のレバーをCOOLとWARMの中間の位置で使用すれば、暖められた風が足元から、比較的溫度の低い風が中央および左右吹き出し口から吹き出します。
2. ③のレバーは で使用します。

▶換気したいとき(強制換気)

〈レバーのセット位置〉



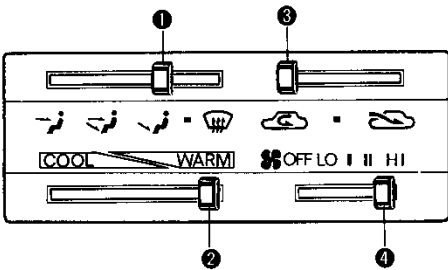
〈吹き出し口〉



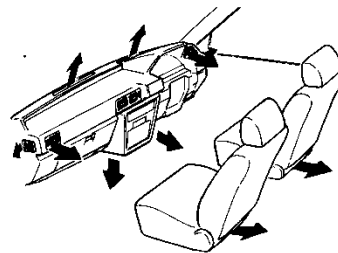
- 1.外のさわやかな風が中央および左右吹き出し口から吹き出します。
- 2.②のレバーをWARM側へ動かすことにより吹き出し温度を暖かくすることができます。




▶早く暖房したいとき

〈レバーのセット位置〉



〈吹き出し口〉



- 1.早く暖房したい場合や、外気がよごれている場合に、一時的に③のレバーを  または  の位置で使用します。
- 2.通常は③のレバーを  で使用します。